

## 平成 22 年度環境技術実証事業

### 自然地域トイレし尿処理技術ワーキンググループ会合（第 3 回）議事要旨

日時	日時：平成 22 年 10 月 13 日（水）15：00～17：10
場所	第 2 東洋海事ビル 会議室 A
出席者	<p>検討員：相野谷誠志（（株）蒼設備設計 設備設計部 課長）          岡城孝雄（（財）日本環境整備教育センター-教育事業グループ-）          河村清史（埼玉大学大学院 教授）（座長）          木村茂雄（神奈川工科大学 教授）          桜井敏郎（（社）神奈川県生活水保全協会 理事）          穂効康治（槍ヶ岳観光（株）代表取締役）          吉田直哉（神奈川県自然保護センター 主査） 五十音順</p> <p>環境省：自然環境局自然環境整備担当参事官室（西村学、宮内拓郎、恩田直子）          総合政策局環境研究技術室（金井信宏）          自然環境局国立公園課（勝田孝）</p> <p>事務局：NPO 法人山の ECHO（上幸雄、加藤篤、永原龍典）</p>
議事	<p>（1）平成 22 年度実証技術について（非公開）          （2）技術セミナープログラム（案）の検討          （3）技術選定のためのガイドブック構成（案）の検討          （4）その他</p>
配付資料	<p>資料 1 平成 22 年度 実証技術資料及び試験計画          （（財）日本環境整備教育センター）（非公開）</p> <p>資料 2 技術セミナープログラム（案）</p> <p>資料 3 技術選定のためのガイドブック構成（案）</p> <p>資料 4 メールマガジンについて</p> <p>資料 5 データベース改定方針について</p> <p>資料 6 WG 検討課題とスケジュール</p>
公開 / 非公開	議事は公開で行なわれた（議事 1 は非公開）

#### 議事 1 平成 22 年度実証技術について（非公開）

#### 議事 2 技術セミナープログラム（案）の検討

- ・ セミナー参加者にアンケートを実施し、「トイレ」とどのように関わっているかを把握したい。また、関心があるテーマについて意見を収集し、メールマガジンの内容構成の参考にしたいとの意見が出された。
- ・ セミナー参加者からトイレの整備事例やし尿処理対策の取組等を情報提供し

たいという要望なども収集し、適切な内容であればメールマガジンで紹介していくことも考えられるとの意見が出された。

- ・ セミナーの機会に、自治体におけるトイレの整備方針・計画などの情報が収集できるとよいとの意見が出された。
- ・ 技術セミナーの開催内容案について了承された。

### 議事 3 技術選定のためのガイドブック構成（案）の検討

- ・ 環境技術実証事業のトイレ以外の分野においてガイドブック作成の先行事例はなく、当分野での検討が初めてであることが報告された。
- ・ 当技術分野の対象技術とはならない浄化槽や携帯トイレ等のし尿対策事例や手法についても、技術を選定する際には検討候補となることから触れておくことが望ましいとの意見が出された。
- ・ ガイドブックを参照することによりユーザーが技術を選定することができるような構成・内容にすることが重要であるとの意見が出された。
- ・ 選定に必要な各章の情報が、4、5章の選定フローに関連付けて示されることが望ましいとの意見が出された。
- ・ 実証参加者に対するメリットとして、ガイドブックにおいて実証済みの技術を紹介してあげることが実証参加者のメリットになる。但し、技術を紹介する際には、「認定評価」ではないことを明記することが必要であるとの意見が出された。
- ・ 発行は、実証運営機関報告書の別冊として、ワーキンググループの名前で発行することを想定していることが示された。
- ・ 内容の問合せ先として、実証運営機関において受付可能な体制がとられることが望ましいとの意見が出された。

### 議事 4 その他

- ・ メールマガジンについて、今年度のセミナーの実施結果概要や、昨年度のセミナーから関心を惹くような地域の事例紹介部分を抜粋して紹介することが望ましいとの意見が出された。
- ・ 検索機能を改善したデータベースについて、運営機関である山のECHOのホームページにおいてデータを公開することについて了解された。